

平成24年度一般会計、8特別会計、3企業会計の決算を認定

全会計の歳入総額345億2,092万円（うち一般会計は227億5,373万円）

歳出総額329億2,760万円（うち一般会計は217億2,611万円）

基金残高 112億7,325万円（定額運用基金は除く）

市債残高 518億4,929万円（この内約334億円が交付税措置されます）

決算特別委員会

9月12日・13日・17日の3日間、決算特別委員会が開催され、平成24年度一般会計決算、8つの特別会計決算及び3つの企業会計決算の認定について審査し、全て認定すべきものと決しました。主な質疑は次の通りでした。

一般会計決算

Q 合併当初と比較して交付税が増えているが、決算総額はそんなに変わっていない。基金に積み立てられているのではないのか。また地域経済の疲弊対策は。どうやって元気な下呂市にするのか。

A 合併当時と比べて交付税は増えてはいるが、公債費分が増加しています。民生費や医療費の動向も考えなくてはいいけません。市内では経済状況が良くなったわけではないので、中山間地に経済効果がいっ表れるかと思っています。

Q 将来の財政不安に備えて基金の積み立てがされているが、今年度、例年より多く基金積立をした理由は。

A 少しでも将来に貯えをしたい。

必要な事業はしっかりやった上で、余裕ができた分は基金に積立えています。

Q 職員研修費の執行額が当初予算の3分の1だが、研修費は職員のスキルアップに必要ではないか。

A 研修の受講者は296名で、積極的に参加してもらおうよう努めています。外部講師を招いて講習会も実施しています。

Q 市のホームページは、見た目貧弱に感じられます。市内各団体とのリンクを積極的に行う等、ホームページや他のメディア等にもお金を掛けて欲しい。

A 情報は職員が随時更新しています。運営体制を含めて、今後ホームページの検討を進めていきます。

Q 獣害対策は、市として取組みが減っているのではないか。

A 獣害対策は一度補助をしないと一定期間できません。そのために現在は減っています。狩猟体制における罠の免許取得者は増えています。

Q 森林政策は、机上と現場での温度差がある。日本で初めてやるような施策を行ったらどうか。

A 間伐材を出せる仕組みなど、県単独でも考えてもらえるよう働きかけをしたい。材価が上がるよう、県に対し根気強く要望していきます。

Q 住宅リフォーム事業の総事業費はいくらか。またその評価をどう考えるのか。

A 24年度の総事業費は4億8千万円です。市内の業者はかなり実績を上げられ、仕事も多く、良かったと思われま。最初の時点から時限付きの制度でした。

特別会計決算

Q 国保事業は、24年に保険税を増税したが、前年比で保険給付費が減額となった。保険税を上げすぎたのではないか。

A 算定時に見込んだ保険給付費を保険税として賦課しました。当初としては適正な算定を行いました。

一般質問 11人が市政を問う



10 番

服部 秀 洋 議員

森林環境税の活用を

①個人所有の小規模林間伐の促進

◆農林部長
間伐は、健全な森林を育成する上で林業の基本であり、森林が持つ水源涵養など多面的機能を向上させる効果を持っています。個人所有の小規模林の間伐を促進することが市全体の間伐促進への大きな力になります。「森林経営計画」を策定し補助を受けたり、森林環境税の事業を活用し補助が受けられるので、造成組合会議などで説明やPRを重ね間伐促進に努めます。

②主要道沿いの立木や草の除去

◆農林部長
倒木の恐れがある立木除去は森林環境税基金事業の里山林整備事業の活用が可能です。森林所有者の理解と同意、沿線住民の協力が不可欠です。台風シーズンを迎えるに当たり、地元と連携した情報の収集を行い、地権者への説明、道路管理者との協議を進めます。

③獣害駆除・里山整備について

◆農林部長
昨年度から猟友会と連携して捕獲を緩めることなく実施していますが、猟友会の活動も限界に近づ

づいています。防除網の設置や追い払いといったディフェンス行為と併せて、地域ぐるみの効果的取り組みを緩めることなく継続していきます。

教育現場の実態をオープンに

①市内小中学校のいじめ・体罰は

◆教育長

いじめについては、今年度はこれまで5件の事案を把握しています。いじめは、その特性から、発見が難しいという特徴があります。学校・地域・保護者が一体となっていじめの発見・対策に努めてまいりたいと思っています。

体罰については、昨年度、アンケートを実施したところ、3件の事案を把握しました。どれも軽微な事案でしたが、今一度、教職員への指導を徹底しました。

②学力は全国的にみてどうなのか。

◆教育長

文部科学省は、平成19年度から「全国学力・学習状況調査」を実施しています。下呂市の状況ですが、ほぼ毎年同様の結果が出ています。中学生は全国平均を上回っていますが、小学生はほぼ全国平均という状況です。

③声掛けなどの犯罪はどうか。

◆教育長

昨年度、児童生徒に関わった声掛けなどの不審者事案は7件です。幸い大きな被害にはなっていない。今後とも、児童生徒の安全確保には全力を尽くしてまいります。

「公の施設の見直し」について

①進捗状況は

◆経営管理部長

昨年度から取り組んでおり、作業が遅れています。9月中には提示するよう努力しています。コストや利用率、安全性などいろいろな観点から検討し、「存続」「統合」「譲渡」「廃止」の方向性を示します。示した素案を検討し、平成30年度を期限に結論を出せるようになります。

②施設の再利用の考え方は

◆経営管理部長

利用者の減により空きスペースがある施設や利用されていない施設については、条例の見直しも含め他の利用方法を積極的に考えていく必要があります。

景観を損ねる雑草駆除について

①国道・県道・市道の除草方法とその取組について

◆建設部長

国道は、交通安全上支障となる箇所や通学路など歩行者が多い箇所を優先に除草していただいています。「ボランティアサポートプログラム」という制度があり、企業



4 番

今井 政 嘉 議員

等が道路の美化活動に参加していただき、地域に貢献していただいています。県道は全路線を年1回行っています。また「ぎふロードプレーヤー」という県と同様のボランティア制度もあります。市道は幹線道路については業者等に委託していますが、それ以外は地域の皆さんの自主的な協力により除草していただいています。

②ホスピタリティ宣言市としての取組について

◆建設部長

先日、上呂区と火打町内会が、国道の歩道や県道の除草・清掃に励んでおられることに対して、国土交通大臣表彰を受けられました。今後は、県道に準じたボランティアを活用する制度などを検討し、景観保持に努めます。

障がい者施設での商品を優先的に行政が買う事となったが、その取組について

◆福祉部長

障がい者施設で製作した商品の受注拡大のため、各部署に周知し、対応を依頼した結果、各種会議やイベント等のノベルティの購入や、パンフレットの袋詰め作業、星雲会館の清掃等4月から金額にして約40万円の実績があります。